

委員研修会

先輩委員から学ぼう

郡上人権擁護委員協議会

令和7年8月8日（金）、「人権の夕べ」の前に、委員研修会を行いました。

今回は、「先輩委員から学ぼう」をテーマに、郡上人権擁護委員協議会が行っている啓発活動「人権の夕べ」「人権七夕」「人権紙芝居」について、その成り立ちや込められた思い、苦勞などについてお話を聞きました。多くの先輩方の人権啓発への思いが込められ、様々な苦勞や工夫をして今日まで続いてきている事を知り、自身の啓発活動への取り組み方を考える事ができました。先輩委員の方の思いを大切に、活動に取り組んでいきたいと、気持ちを新たにしました。



木戸脇支局長さんから、法務局局報に、「人権の夕べ」を題材にした寄稿が多くあることが紹介されました。



8月8日に行われていた八幡駅前でのおどりを、「人権の夕べ」としてもらうように要望をした。

人権紙芝居は、保育園での読み聞かせが最初だった。当時の支局長さんが話を作り、郡上高校の生徒さんに頼んで絵を描いてもらった。

人権七夕の短冊は、初めは紙だったが、雨で破れてしまうので、いいものはないかと探して、現在のプラスチックのものを見つけて替えた。

学校にお願いをしてやってもらうのだから、なるべく学校の負担にならないように、竹を用意した。マジックを用意し、短冊を取り付ける手伝いをしたこともあった。

新型コロナウイルス感染拡大前は、人権にかかわりのある施設や博物館、記念館などに研修に行っていた。

実際に訪れて、見て、感じて、実感をもって人権課題を考えることができたように思う。

